

科目名	特別講義 4								年度	2025
英語科目名	Special Lecture4								学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 2 年次	必／選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義	
担当教員	植木敦・鈴木裕大・小保方ひなの 森岡重樹・山下顕治・中里哲也		教員の実務経験		有	実務経験の職種		イベント系企業		
【科目の目的】										
前期で学んだことを踏まえ、就職活動に活かしながら、問題意識やエンタテインメント業界の今後を共に考えるようにする。また、講義をきっかけに各自の学生が将来の自分の指針について考え、業界で活躍出来るきっかけになる事を目標とし、業界で活躍できる人材となることを目的とする。										
【科目の概要】										
特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。										
【到達目標】										
A. エンタテインメント業界の現状と課題について理解し、自ら問題意識を持って参加する。 B. 講義を通じて業界の動向を把握し、将来に向けた具体的なキャリアプランを描けるようになる。 C. 業界の専門知識やスキルを身につけ、実務に役立つ視点を養う。 D. 自分の強みを理解し、業界で活躍するための指針を見つける。 E. 講義で得た知識を実践的に活用し、業界で求められる人材になるための基礎を築く。										
【授業の注意点】										
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標 A	エンタテインメント業界の現状と課題について理解し、自ら問題意識を持って参加する	業界の現状と課題を理解し、意識的に参加するが、もう少し自分の視点を深める余地がある	業界の現状について基本的に理解し、参加する	業界の現状や課題に対する理解が不十分で、講義に消極的に参加している	業界の現状や課題についてほとんど理解しておらず、議論に参加しない					
到達目標 B	講義を通じて業界の動向を把握し、将来に向けた具体的なキャリアプランを描けるようになる	業界の動向を理解し、キャリアプランを描くが、具体性を高めるための更なる工夫が必要	業界の動向を理解し、キャリアプランの方向性を描けるが、実行計画が不足している	業界の動向に対する理解が不十分で、キャリアプランを描けていない	業界の動向を把握せず、キャリアプランを描くことができない					
到達目標 C	業界の専門知識やスキルを身につけ、実務に役立つ視点を養う	業界の専門知識やスキルを理解し、実務で活かせる視点を身につけるが、深みがもう少し必要	業界の専門知識を基礎的に理解し、視点を養っている	業界の専門知識やスキルの理解が不十分で、実務に活かせる視点を養うのが難しい	業界の専門知識やスキルについて理解しておらず、実務に役立つ視点をできていない					
到達目標 D	自分の強みを理解し、業界で活躍するための指針を見つける	自分の強みを理解し、それを業界で活かす方法を描けるが、指針の明確さに少し改善が必要	自分の強みを理解し、活かし方を考えられる	自分の強みが十分に理解できておらず、業界での活躍方法に悩んでいる	自分の強みを理解しておらず、業界での活躍方法が見つけられない					
到達目標 E	講義で得た知識を実践的に活用し、業界で求められる人材になるための基礎を築く	講義で得た知識を活用し、業界で必要なスキルを身につけつつあるが、さらなる実践が必要	講義で得た知識を実践に活かし始めている	講義で得た知識を実践に活かしきれておらず、業界で必要なスキルに不足がある	講義で得た知識を活用できず、業界で必要なスキルを身につけていない					
【教科書】										

プリント資料

【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
*出席率、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *講義の感想やレポートをみて理解度を確認する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		特別講義 4					年度	2025	
英語表記		Special Lecture4					学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	特別講義(1)	課題の趣旨を理解	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる			3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる				
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる				
2	特別講義(1)	知見を広げるためのきっかけづくり	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る			3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する				
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う				
3	特別講義(1)	まとめ	1	報告作成	活動の振り返りを行う			3	
			2	体験共有	実績を整理し発表				
			3	振り返り	改善点の提案を行う				
4	特別講義(2)	課題の趣旨を理解	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる			3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる				
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる				
5	特別講義(2)	知見を広げるためのきっかけづくり	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る			3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する				
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う				
6	特別講義(2)	まとめ	1	報告作成	活動の振り返りを行う			3	
			2	体験共有	実績を整理し発表				
			3	振り返り	改善点の提案を行う				
7	特別講義(3)	課題の趣旨を理解	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる			3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる				
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる				
8	特別講義(3)	知見を広げるためのきっかけづくり	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る			3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する				
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う				
9	特別講義(3)	まとめ	1	報告作成	活動の振り返りを行う			3	
			2	体験共有	実績を整理し発表				
			3	振り返り	改善点の提案を行う				
10	特別講義(4)	課題の趣旨を理解	1	特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる			3	
			2	課題発表	課題の意義がわかる				
			3	課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる				
11	特別講義(4)	知見を広げるためのきっかけづくり	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る			3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する				
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う				
12	特別講義(4)	まとめ	1	報告作成	活動の振り返りを行う			3	
			2	体験共有	実績を整理し発表				
			3	振り返り	改善点の提案を行う				

13	特別講義(4)	課題の趣旨を理解	1 特別講義の内容発表	授業対象講義の意義がわかる	3
			2 課題発表	課題の意義がわかる	
			3 課題・講義内容の理解	課題・講義内容の理解できる	
14	特別講義(4)	知見を広げるための きっかけづくり	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する	
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う	
15	特別講義(4)	まとめ	1 報告作成	活動の振り返りを行う	3
			2 体験共有	実績を整理し発表	
			3 振り返り	改善点の提案を行う	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					